

低気圧襲来時の現場確認は

状況に応じて現地を確認



矢野 昭三 議員

より確認をした経験はない。また、本部長である町長が現場に出ていく行為は、町の危機管理上適切な行動ではない。状況に応じて現地の確認をするのは当然のことだと思

問 遠隔地の平時、非常時の低気圧襲来時等の状況を現地において確認しているか。
また、新型コロナ後を見据えると、情報通信機器を使つての業務が多くなる。遠隔地の自然条件が違う場で住民に寄り添い勤務をするか。

答 松本町長

遠隔地とは鈴地区の事ではないかと思つている。台風襲来時、そのままの状況というのは現地であ



鈴漁港

また、常に住民に寄り添い仕事をする事は当然の事と認識している。今、佐賀地域では、建設課を中心に高規格道の整備に動いている。今後は益々佐賀地域の方へ行くことが必要となるが、全庁的な機構の中で調整し、務めを全うしたい。

非常時対策

住宅用地造成計画は全町的な造成策定計画ない

問 住宅用地造成計画は、浸水が想定される集落を見据え全町的に策定するか。

答 松本町長

安全な住宅地の形成については、南海トラフ地震・津波防災計画の基本的な考えは町が持つている。現段階では、津波浸水想定区域全域を見据えた住宅地造成計画を策定する計画はない。

防災対策

排水対策工事完了見通しは令和6年度末までの予定

問 佐賀漁港の排水対策工事の完了の見通しは。また、河川の土砂、竹

やぶ等が流れを阻害し災害が発生している。土砂の取除きが、農家の作付け時期や漁業者の畜養の時期と重なることから、土木事務所、関係者との日程調整の協議を実施するか。

答 土居海洋森林課長

佐賀地区の排水対策も含めた、集落環境の全体概略設計を進めている。用地を伴う事業となり、関係者の同意も滞りなく進むことが条件となる。喫緊の災害対策に伴う事業であり、最長で令和6年度末までに完了予定としている。

答 森田建設課長

利水や濁りの問題は重要である。農業、漁業従事者の水利に関連することは、事前に県と町が相談し実施するよう努める。

【その他の質問】
・学習の場について
・良好な環境の形成について



竹やぶの向こうにニラ畑 (伊与木川)